

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段 目 録	取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度										
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳		取組み状況	成果	今後の方向性			
											特定財源 (千円)	一般財源 (千円)						
1	1	①	よこて農業 創生大学 事業	地域価値創 造拠点整備 事業(新町 エリア) 【H26⇒27 繰越】	・管理棟解体及び 改修工事 ・駐車場整備工事 ・作業道改良工事 ・実施設計等	本事業によ る新規就農 者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～ 31)	5人/ 年	2人/ 年	16,899	13,000	3,899	<ul style="list-style-type: none"> <li>■旧管理棟解体及び格納庫改修工事設計及び設計監理業務委託</li> <li>■旧管理棟解体及び格納庫改修工事</li> <li>■作業道、駐車場整備工事等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■旧管理棟解体及び格納庫改修工事設計及び設計監理業務委託完了</li> <li>■旧管理棟解体及び格納庫改修工事完了</li> <li>■作業道、駐車場整備工事完了</li> </ul>				
2	1	①	よこて農業 創生大学 事業	地域価値創 造拠点整備 事業(狐塚 エリア) 【H26⇒27 繰越】	・旧大雄中学校舎等 解体工事 ・地域価値拠点 圃場等整備工事 ・消防用設備等設 置工事 ・実施設計等	本事業によ る新規就農 者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～ 31)	5人/ 年	2人/ 年	157,185	140,500	16,685	<ul style="list-style-type: none"> <li>■旧大雄中学校舎等解体工事</li> <li>■地域価値拠点(狐塚エリア) 圃場整地工 事</li> <li>■体育館消防設備設置工事</li> <li>■実施設計等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■旧大雄中学校舎等解体工事完了</li> <li>■地域価値拠点(狐塚エリア)圃場整地工事完了</li> <li>■旧大雄中学校体育館消防設備設置工事完了</li> <li>■地域価値創造拠点(狐塚エリア)整備工事実施 設計業務委託完了</li> <li>■旧大雄中学校校舎等解体工事設計監理業務 委託完了</li> <li>■旧大雄中学校校舎石綿除去工事実施設計業 務委託完了</li> <li>■旧大雄中学校体育館消防設備設置工事設計 及び設計監理業務委託完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域価値創造拠点整備構想・計画に基づ き、拠点施設等整備を実施するとともに新規 就農に向けた人材育成、農業所得向上に向 けた取組みを着実に実施する。</li> </ul>			
3	1	①	よこて農業 創生大学 事業	農業経営者 等育成事業 【H26⇒27 繰越】	・研修生等育成事 業 ・農業経営実践レ ベルアップ事業 ・横手産野菜普及 促進事業	本事業によ る新規就農 者数(研修 者数)	5人/毎年 (H27～ 31)	5人/ 年	2人/ 年	4,995	0	4,995	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規就農者育成研修事業</li> <li>■農業経営実践者レベルアップ事業</li> <li>■市民向け野菜講習・体験事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規就農者育成研修事業 (2年目生2名、1年目生4名)</li> <li>■農業経営実践者レベルアップ事業 (4/22、8/3、12/6、3/5)</li> <li>■市民向け野菜講習・体験事業(7/13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■所期の目的の達成に向けて、研修体制の見 直しや各種関係機関との連携強化が必要。</li> <li>■農外からの研修生に対する就農環境整備 構築の検討が必要。</li> <li>■研修生の増に対応した専任の栽培指導者 確保が必要。</li> </ul>			
4	1	①	就農支援 事業	新規就農者 レベルアップ 事業 【H26以前】	青年農業者同士 また、青年農業者 とベテラン農業者 との交流会や全国 規模の研修会へ の参加費一部補 助。	新規就農者 数	30人/毎 年 (H27～ 31)	30人	30人	46	40	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規就農者レベルアップ研修の実施 (実施日:H30.2/2)</li> <li>■戦略的な販路開拓と消費者に選ばれるた めの商品作りについて研修。認定新規就農者 や農業研修生など25名が参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業経営の専門家を講師とし、効率的かつ 収益性のある農業経営等について研修する ことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規就農者の経営力向上につながる研修 を継続していく。</li> </ul>			
5	1	①	就農支援 事業	フロンティア 農業者育成 費 【H26以前】	新規就農や新部 門開始に必要な 技術を身につけ るため、県の各試 験場等で研修を 行なう場合に補 助する。	新規就農者 数	30人/毎 年 (H27～ 31)	30人	30人	4,800	2,520	2,280	<ul style="list-style-type: none"> <li>■4名が果樹試験場で、1名が農業試験場で 研修を実施。(2年目生3名・1年目生2名) ※フロンティア農業者育成事業費補助金を 受給している研修生は4名。ほか1名は農業次 世代人材投資資金(準備型)を受給。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規就農や新たな部門開始に必要な技術 や経営ノウハウを習得できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■研修制度を広く周知し、研修生の確保に努 め、新規就農または新規部門開始に必要な技 術・知識を習得してもらい、地域農業の優 れた担い手を確保・育成する。</li> </ul>			
6	1	①	就農支援 事業	地域で学べ る農業技術 研修事業 【H26以前】	就農に必要な技 術を身につける ため、農業後継者 等が市内の実験 農場において研 修を行なう場合 、研修奨励金を 助成する。	新規就農者 数	30人/毎 年 (H27～ 31)	30人	30人	6,000	2,250	3,750	<ul style="list-style-type: none"> <li>■6名が横手市実験農場で研修を実施。 (2年目生2名・1年目生4名) ※地域で学べ農業技術研修費補助金を受 給している研修生は5名。ほか1名は農業次 世代人材投資資金(準備型)を受給。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規就農や新たな部門開始に必要な技術 や経営ノウハウを習得できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■研修制度を広く周知し、研修生の確保に努 め、新規就農または新規部門開始に必要な技 術・知識を習得してもらい、地域農業の優 れた担い手を確保・育成する。</li> </ul>			

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録 7	取 目 録 6.1.3	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度							
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳		取組み状況	成果	今後の方向性
											特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
7	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	青年就農給付金事業 【H26以前】	原則45歳未満の新規就農者に年間150万円を給付する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人	30人	66,800	66,796	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新規採択者 4名</li> <li>■継続受給者 42名</li> <li>■所得制限による給付停止 1名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■就農前後の青年就農者に対し給付金を給付することにより、青年の就農意欲の喚起と就農後の経営安定につながった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域農業の優れた担い手に対し引き続き支援を行う。</li> </ul>
8	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	農業次世代人材投資事業 【H30】	45歳未満の新規就農者に対して、就農直後の経営確立を支援する資金を交付する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	—	—	—	—	—			
9	1 / ①	6.1.3	就農支援事業	農業インターンシップ 【H26以前】	将来の地域農業を担う人材を育成するため、実践研修や先進地研修等を実施する。	新規就農者数	30人/毎年 (H27～31)	30人	30人	152	0	152	<ul style="list-style-type: none"> <li>■増田高校農業科学科の生徒を対象に、市内先進農家での実践研修や管内・管外の視察研修を実施。</li> <li>・農家研修 延べ8日間</li> <li>・視察研修 管内1回・管外1回</li> <li>・農業講話 5回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実践研修や視察研修を通して、農業に対する意識を高めてもらうことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業への理解を深めてもらい、新たな担い手の確保につなげていくために事業を継続していく。</li> </ul>
10	1 / ①	5.1.1	若年者等人財育成・地元定着支援事業	若年者等人財育成・地元定着支援事業 【H26以前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年者の人材の育成を支援することにより、市内の企業、事業所等の雇用の安定及び若年者の定住を促進させる。求職者等が就業等に必要資格の取得等に係る経費の一部を補助。</li> </ul>	若年者等人財育成・地元定着支援事業を活用し資格取得等した人数(補助対象人数)	のべ80人/毎年 (H28～31)	80人	補助金交付決定数 62人	2,895	0	2,895	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業周知として、ハローワーク横手の求人検索システムトップ画面への補助内容掲載や市報、市ホームページへ掲載</li> <li>■10月18日に予算上限に到達し、同日、申請受付を終了。</li> <li>■申請受付終了後から現在まで、十数件程度相談があり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■補助金交付決定数62件うち求職者9件、在職者56件(申請件数65件)</li> <li>■車両系(大型特殊免許等)や建設系(建設業経理士等)の資格取得が多く、申請全体の6割を占めた。</li> <li>■若年者の資格取得等の補助により、能力開発向上を促進し、地元定着と雇用の安定に寄与した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■申請件数が少ない求職者の資格取得促進を図るよう、交付要件を改正予定。</li> </ul>
11	1 / ①	5.1.1	若年者等人財育成・地元定着支援事業	就職情報総合ポータルサイト「ジョブナビ」構築事業 【H28】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者の横手市への定住促進のため、新卒者等の若い世代を対象としたUJターンのための就職を支援</li> <li>・市内企業の求人状況や企業情報等就職情報ポータルサイトを構築</li> </ul>	サイト登録事業者数	2,950事業所 (H28～31)	2,850事業所	2,454事業所 (H30年3月末時点)	4,400	0	4,400	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業周知として、市ホームページや横手市勤労者互助会HPへ掲載したほか、各企業連絡協議会総会時および企業訪問時の説明を行った。また、市、県、秋田県南工業振興会等主催の各セミナー開催時にチラシを配布。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サイト登録事業者数(2,454件)</li> <li>■サイト閲覧ユーザー数(延べ26,825人 73人/日)</li> <li>■サイト閲覧数(延べ78,425回 214回/日)</li> <li>■HP訪問者が見る平均ページ数(2.92ページ)</li> <li>■HP訪問者のうち1ページ見て戻る割合(直帰率80.15%[目安:40%～60%])</li> <li>■求人検索の利用(延べ14,695回)</li> <li>■企業検索の利用(延べ9,198回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■周知活動、SNSとの連携等により、引き続き、登録事業所数およびサイト閲覧者数の増加を図る。</li> </ul>

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 段 目 取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度						取組み状況	成果	今後の方向性		
							指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳		取組み状況				成果	今後の方向性
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)						
12	1 ①	若年者等 人財育成・ 地元定着 支援事業	インターン シップ促進 支援事業 【H29】	市内企業の魅力 の理解や市内就 職の促進に有効 な制度であるイン ターンシップの機 会を増やすため、 大学生等が負担 する市内企業へ のインターンship 参加に要する経 費を助成	インター ンship参加者	40名/毎 年 (H29～ 31)	40人/ 年	補助金 交付決 定数 16人	223	0	223	<ul style="list-style-type: none"> <li>市報、市ホームページ、よこてれび、市facebookへ掲載</li> <li>横手JOBナビへ掲載</li> <li>かまからFMでの放送</li> <li>企業へ個別通知送付(県南工業振興会総会時配布)</li> <li>60部、動向調査企業へ配布、秋田県インターンship実施企業(横手市内企業)へ郵送</li> <li>県移住・定住促進課との連携(県が協定を締結している大学(10大学)への情報提供)</li> <li>ふるさと定住機構との連携(ふるさと定住機構を通じ横手市内にインターンshipをする大学生への事業紹介)</li> <li>県内大学への事業周知(秋大、県立大、秋田高専)</li> <li>中小企業庁施策マップへの掲載</li> <li>成人式出席者への事業周知チラシ配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金交付決定数(16人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周知活動、SNSとの連携等により、引き続き、利用者数の増加を図る。</li> </ul>			
13	1 ①	起業・創業 支援事業	横手市起業 家育成事業 【H26以前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業ワンストップ相談窓口の運営</li> <li>Bizサポートよこての運営</li> <li>起業セミナー開催</li> <li>新たな起業又は創業をしようとする者に対し、起業・創業支援事業補助金を交付</li> </ul>	UIJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～ 31)	7件/ 年	9件/ 年	11,368	1,566	9,802	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業ワンストップ相談窓口を設置し創業相談を実施。</li> <li>Bizサポートよこてを運営し新規創業者を支援。</li> <li>2日間に亘り起業したい女性、起業したの女性を対象に「女性のための起業家支援セミナー」を開催。</li> <li>新たに起業される方に、起業・創業支援事業補助金を交付。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>創業相談の実施(延べ154名)</li> <li>インキュベーションオフィス6社(ほか1社が卒業)、シェアードブース3名が利用。</li> <li>21名(延べ34名)が参加。女性起業家の事業紹介やワークショップにより起業へのきっかけづくりとネットワークづくりを実施。</li> <li>起業家9名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業・創業を活性化させるため創業支援事業計画による取組を継続し、創業支援事業者との連携と事業PRを強化する。</li> </ul>			
14	1 ①	起業・創業 支援事業	横手市起業 家発掘事業 【H28】	<ul style="list-style-type: none"> <li>県外在住の仕事を作り出せる起業家の移住を促進</li> <li>伴走型経営支援(ハンズオン支援)を行うことで、起業家を育成</li> </ul>	UIJターン起 業家数	2件/毎年 (H28～ 31)	2件/ 年	0件/ 年	10,869	0	10,869	<ul style="list-style-type: none"> <li>UIJターン起業家の市内での起業およびサテライトオフィス誘致(3件以上)</li> <li>イベント等で都市圏人材へのアプローチを進めている。8月には東北を回り起業家訪問を行うツアーを実施。横手市には首都圏から4名が参加しCAMOSIBAを見学。横手の起業家や事業を紹介することを通じ、既存の起業家の課題解決を行いながら横手市に關係する人材、訪問する人材を募る。</li> <li>ビジネススクール受講者(15件以上・受講者32名)</li> <li>アクセラレータープログラム選抜者(3名)</li> <li>内容:第1回～第3回を集合支援としてセミナー型の研修とする。それぞれ「法務」「販売」「人事」とEラーニングの内容の発展版として、事業進捗に伴い発生する課題に対応したコンテンツとする。第4回を資金調達マッチングとして金融機関とのマッチングを行う。</li> <li>選抜:集合研修の内容と選抜用のアンケートフォームをEラーニング受講者にメールで送信を行い、回答のあった方から事業内容、成長意欲、参加可能回数などを確認協議し、3名を選抜者として決定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>UIJターン起業家イベント等で都市圏人材へのアプローチを進めていたが「厳しい人取り合戦の環境に年々なってきた」「すぐの移住ではなく関係人口を増やしていくという総務省の方針も相まって変更が必要な箇所と認識している」との意見をMAKOTOからいただいた。関係人口を増やしていくという面では成果はあり今後につながるものと認識しているが、結果として移住起業には至らなかった。</li> <li>ビジネススクール受講者(32名)</li> <li>アクセラレータープログラム選抜者(3名)</li> <li>地域内に中核的起業家を育てるべく、東北各地から選りすぐった起業家を集中的な支援を行うプログラムに横手市から3名を選抜し参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>UIJターン起業家の市内での起業およびサテライトオフィス誘致については実績がなく廃止とする。アクセラレータープログラムについては継続して実施する。</li> </ul>			
15	1 ①	成長産業 支援事業	ICTビジネス 推進事業 【H26以前】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジネスに活用できるICTセミナーを開催</li> </ul>	新規立地企業数	1件/毎年 (H28～ 31)	10人/ 回	9人/ 回	199	0	199	<ul style="list-style-type: none"> <li>「実践！売上UPに効くデータ分析セミナー」の開催(H30.2/8)</li> <li>講師を招き、データ分析法や有効なデータ分析活用法を主としたセミナーを開催。市内事業所に勤務する9名がセミナーに参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東証一部企業等の生産性や経営改善を支援する専門家を招き、幅広い業種で活用できるITツールを活用したデータ分析セミナーを開催した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業内容等について精査必要。</li> </ul>			

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	手 段 目 録	基本 目 録 / 取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度										
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳		取組み状況	成果	今後の方向性			
											特定財源 (千円)	一般財源 (千円)						
16	1	①	7.1.2 成長産業支援事業	特定産業・大規模立地企業等研修支援事業 【H28】	・特定業種や一定の要件を満たす新規立地企業等に対し、社員に対する研修に係る経費や研修を受ける社員の旅費を助成	新規立地企業数	1件/毎年(H28～31)	1社/年	1社/年	215	0	215	■H28年度に計画認定(2か年)した1社に対し、2年目として実施する各種資格取得費への補助金交付。	■測定器指導講習や精密計測技術セミナーの受講等により、新規立地に伴う人材育成支援に寄与した。 ■補助金交付(対象者:6名)	■H30年度は対象企業なし。			
17	1	①	7.1.2 成長産業支援事業	BIGプロジェクト支援事業 【H28】	・投資額5億円超(土地・消費税除く)かつ新規正規雇用10人以上を行う市内中小企業及び市内に新たに立地する企業に対し、投資額の5%(上限5千万円)を補助する。	新規立地企業数	1件/毎年(H28～31)	1件	0件	0	0	0	■実績なし	■実績なし	■H28年度に計画認定した1社に対し補助金を交付予定。			
18	1	①	7.1.2 新製品・新技術開発支援事業	地域ビジネス発掘調査事業 【H26以前】	・産業振興に向けた市の課題解決に結びつく、企業アイデアの商品化や新製品等の開発のための試験を委託により実施	新製品開発着手企業件数	2件/毎年(H27～31)	2件	0件	51	0	51	■産学連携の取り組みを強化した。 ■市内企業2社の技術課題に対し、東北大学と連携し、その課題解決に向けて取り組んでいる。	■東北大学との連携強化により、市内企業の課題解決に向けた取り組みに対し、多面的な支援を行う体制を整備した。	■産学官の取り組みを強化し、市内関係機関の一体的なネットワークを構築することで横手市全体で商工業振興に取り組んでいく。			
19	1	①	7.1.2 新製品・新技術開発支援事業	ものづくり事業化プラン・プロジェクト発掘支援事業 【H26⇒27繰越】	・新製品・新技術開発者への補助 ・新製品・新技術のプラン、プロジェクトの募集、発掘と開発者とのマッチング ・地域課題を発掘し、課題解決に向けた各種団体との調査研究及び新製品を開発	新製品開発着手企業件数	2件/毎年(H27～31)	2件	3件	20,252	20,000	252	■ものづくり事業化プラン開発支援(対象:3社) ■ものづくりアイデアコンテストの実施 ・一般の部:優秀賞1点 ・小中学生の部:優秀賞3点 ■新商品生産による新事業分野開拓者認定制度審査会を開催(1社:ペーパーレス会議ツール)	■杉皮防草マット開発、建物診断システム開発、清酒製造技術開発の3社に対し、補助金を交付予定。 ■市内企業開発の新商品を認証HPや市報への掲載を実施。製品の知名度向上に寄与した。 ■ものづくりアイデアコンテストの表彰式を開催した。	■H29年度の同様の支援内容で継続予定。 ■ものづくりアイデアコンテストは非継続。			

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録 /	取 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
											特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
20	1 /	①	IT・ソフト ウェア関連 産業企業 立地優遇 制度助成 事業	IT・ソフトウ ェア関連産 業企業立地 優遇制度助 成事業 【H26⇒27 繰越】	・ソフトウェア業、 情報処理・提供 サービス業等の業 種で、新規に3名 以上を正規雇用、 または市内事業 所等における純増 を行った法人に対 し助成	対象とする 産業につい て新規雇用 を伴い起業 又は事業拡 大した事業 所数	2事業所/ 毎年 (H27～ 31)	2社	1社	4,809	4,800	9	■補助金交付 継続3年目:2社、継続2年目:1社、新規事 業拡大:1社	■新規雇用数:正規雇用 1社4名 (うち横手市在住:2名)	■IT・ソフトウェア業務を核とする優良企業の 誘致を目指し、助成項目を見直す。
21	1 /	②	「横手を学 ぶ郷土学」 創設事業	「横手を学 ぶ郷土学」 創設事業 【H27】	・全小中学生向け の「横手を学ぶ郷 土学総合テキスト」 の作成 ・文化財の伝承と 発信のために伝統 芸能の育成	「横手を学 ぶ郷土学」完 全実施校	23校(全 校) (H31)	23校	23校	4,612	4,600	12	■小中学校の児童・生徒のうち、冊子未配布である転校 生に対して、小学校1年生以上の児童・生徒には、横手 を学ぶ郷土学総合テキスト・「よこてだいすき」及び「横手 市の文化財」を配布。小学校5年生以上の児童・生徒に は、サブテキストとして「漫画後三年合戦物語」を買取・ 配布。 ■地域の特色ある文化の継承と発信のため、伝統芸能 育成チームを編成し、後継者育成に寄与するとともに、 実践の発表の場として、「子ども伝統芸能発表大会」を 開催。 ■横手市最大の歴史の出来事である「後三年合戦」を 題材として、「横手市創作子ども歌舞伎」を上演し、市民 が地域の歴史を身近に感じる機会を提供するとともに、 子どもたちが、ふるさと横手に誇りと愛着を持てる機会と することができた。 ■地域に伝わる伝統芸能で後継者育成に悩む伝統芸 能保存団体を学校、地域と連携をとりながら育成してい くことができた。	■総合テキスト「よこてだいすき」「横手市の文化 財」が完成し、市内小中学校生徒及び教職員に配 布(7,350部)。また「漫画後三年合戦物語」新5年 生に配布(720部)。 ■「子ども伝統芸能発表大会」の開催 (10/22:観客200名) ■「横手市創作子ども歌舞伎」の開催 (9/23:400名) ■小坂町から依頼を受け「康楽館演劇祭」に出演 (12/10:20名) ■地域に伝わる伝統芸能の保存継承と後継者育 成が学校と地域(保存団体)の連携により活発化 し、様々な発表の場の機会を頂き、金沢掛唄育 成チーム「よこて掛唄チャレンジキッズ」を広くPRで きた。	■事業を継続することで、未来を担う子どもた ちに地域の特色ある歴史・文化などを分かりや すくかつ楽しく学ぶことで、さらなる郷土愛の醸 成に繋げていく。
22	1 /	②	次世代もの づくり人材 育成事業	次世代もの づくり人材 育成事業 【H26以前】	・ものづくりを中心 とした学習や職業 に関する学習等、 キャリア教育の充 実を図る取組によ り、児童生徒の望 ましい勤労観・職 業観の育成を促 進させる。	「横手市キャ リア教育研修 会」に対する 「大変参考にな った」と回答す る教職員の割合	73% (H31)	71	55	344	0	344	■「平成29年度 横手市キャリア教育研修 会」 の開催(H30.2/9)	■各小中学校から1名ずつの参加 ■外部講師の講話を聞き、社会で求められる 人材について学ぶ。	■研修会参加対象者の再考が必要。 県の研修会も充実してきているため、臨時講 師の先生方にも研修の機会を増やすことも含 めて開催を検討。 ■外部講師の講話の時間を増やし、「講話会」 形式での開催を検討。
23	1 /	②	横手市情 報発信戦 略プロジ ェクト事 業	横手情報セ ンター連携 事業 【H27⇒28 繰越】	・市民一体となっ た情報発信の推 進を担う「横手情 報センター」の自 律的な運営に向 けた支援	横手市役所 発信の新規 情報提供	5,000件 (H28～ 32)	1,500 件	3,000 件	2,995	0	2,995	■横手市情報センターとの連携とセンター自 立への委託支援。 ■よこてれびに市民にしたしんでもらうために、 小中学校のスポーツ大会結果をよこてれびHP 上で掲載。 ■委託先のYokotterによる企画番組の開始。	■よこてれびのアプリ登録数は、平成29年3月 末が595件、1月末が1049件。 ■小中学校のスポーツ大会結果をよこてれび HP上で9月より掲載し、掲載前(約300件)より 閲覧数が約5倍に増加(平成30年1月末ま で)。 ■委託先のYokotterによる企画番組計127本 を制作し、よこてれびやSNSで放送。 ■市民からの情報提供総数(平成30年1月 末) 55件	■今後も横手市情報センターが自立出来るよ うに連携しながら、市民が身近に感じれる情報 を発信していく。

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録 / 取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度									
							指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財産内訳		取組み状況	成果	今後の方向性		
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)					
24	1 / ②	2.7.6 増田まんが 美術館魅 力アップ事 業	まんが原画 収集保存事 業 【H26⇒27 繰越】	・マンガ原画の収 蔵及びアーカイ ブ化を進める。	マンガ原画 収蔵点数 (累計)	175,000 点 (H31)	85,000	167,761	18,500	1,975	16,525	<p>■マンガ原画の収蔵</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大部数収蔵 高橋よしひろ氏 3月末までに全原画 40,000枚を収蔵</li> <li>■マンガ原画のアーカイブ</li> <li>・矢口高雄氏の原画15,000枚をアーカイブ 45,000枚全てのアーカイブ作業終了 (解像度1,200dpi 一枚10分)</li> </ul>	<p>■高橋よしひろ氏の全原画を3月下旬に収蔵。目標指数をはるかに上回るペースで収蔵が進んでいる。</p> <p>■アーカイブについては文化庁のメディア芸術アーカイブ推進支援事業(まんが財団が直接補助)として実施しており、文化庁等からは「増田モデル」として推奨されている。</p>	<p>■高橋よしひろ氏の原画の整理作業に着手。</p> <p>■矢口高雄氏の全原画(45,000枚)のアーカイブを終了。</p> <p>■昨年度収集した小島剛夕氏のデジタルアーカイブ作業に着手していく</p>		
25	1 / ②	2.7.6 増田まんが 美術館魅 力アップ事 業	人材育成事 業 【H28】	・マンガやアニメ文 化振興のための 人材育成の取り組 み。	マンガ原画収 蔵	175,000 点 (H31)	—	—	—	—	—					
26	1 / ②	2.7.6 増田まんが 美術館魅 力アップ事 業	特別企画展 等開催事業 【H26⇒27 繰越】	・特別企画展や官 学交流イベント等 を開催する。	マンガ原画収 蔵	175,000 点 (H31)	85,000	167,761	7,031	1,775	5,256	<p>■マンガアート展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・矢口高雄氏、東村アキコ氏、能條純一氏、小島剛夕氏4氏のアート展 期間:4/22～5/14 会場:旬菜みそ茶屋くらを 入場者数:331人</li> <li>■俺節原画展</li> <li>・土田世紀原作「俺節」の舞台化とあわせ、公演会場隣で開催 期間:5/26～6/18 会場:東京赤坂サカス 入場者数:13,396人</li> <li>■りぼんのふろく展</li> <li>・創刊60周年を記念し、創刊からのフロクを展示 期間:7/29～10/29 会場:旬菜みそ茶屋くらを 入場者数:6,335人</li> <li>■まんが美術館は休館中ですがいろいろ知ってほしいことがあります展</li> <li>・期間2/1～2/25 会場: FONTE秋田6階イベント会場 入場者数:1,206人</li> <li>■マンガを描く楽しさを知るワークショップ 2/25FONTE秋田 77人 3/18Y2プラザ 76人</li> </ul>	<p>■増田まんが美術館大規模改修工事に伴い、増田の町並みにおいて移動特別企画展を2回開催したことにより、これまで町並みに訪れたことのない年齢層の観光客が訪れ、今後の連携事業の可能性が生まれた。また、商店経営者とのコラボレーションも、経営者の自発的な発想により生まれ、今後の事業展開に大きな弾みとなった。</p> <p>■東京で移動特別企画展を開催したことにより、短期間の開催にも関わらず、多くの入場者を迎えることができ、横手市のPRへとつながった。</p> <p>■京都精華大学と連携し、FONTE秋田やY2プラザを会場にワークショップを開催したところ、小学生から高校生まで153人(秋田77人、横手76人)が参加し、リニューアルオープンする増田まんが美術館のPRになるとともに、大学との連携強化、マンガを活用した子ども育成、生涯学習のニーズや可能性を把握できた。</p>	<p>■増田まんが美術館のリニューアルオープンまでの間は移動特別企画展等を開催し、美術館のPR等を行い、オープン後は美術館での企画展は勿論のこと、町並みとの連携企画展及び市内全域へ波及効果をもたらす企画展を開催していく。</p>		
27	1 / ②	2.7.6 増田まんが 美術館魅 力アップ事 業	増田の町並 み連携事業 【H26⇒27 繰越】	・重伝建地区である「増田の町並み」と相乗的な効果を図るための誘導看板等を設置する。	マンガ原画収 蔵	175,000 点 (H31)	—	—	—	—	—					

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録 / 取 目 録	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度				取組み状況	成果	今後の方向性	
							指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)				一般財源 (千円)
28	1/②	増田まんが美術館整備事業	増田まんが美術館整備事業 【H28⇒29 繰越】	・増田ふれあいプラザの一機能であった「まんが美術館」機能を強化し、施設全体をまんが美術館に特化した魅力向上を図るための展示及び施設改修工事を実施する。	増田まんが美術館入場者数	120,000人/年(H31)	0	0	428,294	342,629	85,665	<p>■増田まんが美術館大規模改修工事</p> <p>【設計管理業務委託】 ・期間:H29.7.25～H30.12.14</p> <p>【建築工事請負】 ・工期:H29.7.19～H30.3.20</p> <p>【機械設備工事請負】 ・工期:H29.7.19～H30.3.20</p> <p>【展示工事請負】 ・工事:H29.9.25～H30.11.30</p> <p>【外装・外構等設計及び設計監理業務委託】 ・委託期間:29.6.27～30.11.30</p> <p>【アスベスト調査業務委託】 ・委託期間:H29.8.8～9.22</p>	<p>■内部の建築、機械設備工事は年度内に終了し、展示工事に関しては、3月末進捗率35%まで完成した。</p> <p>■外装・外構等の設計は年度内に完成させたうえで調整を行い、30年度早々に発注手続きを行い、着手する。</p>	<p>■H30.11/30をもって全ての工事を完了し、同12月に横手市への引き渡しを受け、H31.4中旬のリニューアルオープンを目指す。</p>
29	1/②	横手産品販路拡大事業	横手産品販路拡大推進事業 【H26以前】	・首都圏・仙台圏での横手産品販促とテストマーケティング ・バイヤーとの引き合わせにより、生産者が直接の商談機会を増やし、定期商流の構築できるよう支援 ・香港シテイスーパーでの販促活動や専門家を通じて海外販路開拓のための調査・検証活動	商談機会提供数	10回/毎年(H28～31)	10回	15回	7,714	0	7,714	<p>■仙台圏直売催事「うめっす菜」の開催支援(12回…ポスター・チラシ印刷と開催事務手続き支援、販促品の提供)、直売所棚代支援</p> <p>■サカガミ:フェア開催及び産地見学による商談機会創出(フェア…夏秋冬計3回、産地見学1回)</p> <p>■九州屋:産地見学及びフェアの実施(各店舗店長等社員4名、スイカフェア都内5店舗で開催、JA産リンゴフェア都内3店舗、リンゴ担い手農家によるテストマーケティング1回)</p> <p>■友好都市における物産展の開催(厚木市…3回、那珂市…2回)</p> <p>■人材育成のための体験学習やセミナーの開催(増高生対象…モスバーガーでの販売体験、九州屋でのインターンシップ)</p> <p>■商工会議所と連携した商品開発セミナー開催(食品加工事業者10事業者参加、開催支援3回)</p> <p>■県いぶりがっこ振興協議会と連携した取り組みの実施と伝統野菜や特産品等の販路拡大支援の実施</p> <p>■あきた食彩プロデュースへの委託による台湾での販路開拓</p>	<p>■仙台市八百長商店「うめっす菜」への支援による認知度向上と顧客増加への貢献</p> <p>■サカガミの産地見学による商談機会の創出とフェア開催等による販路拡大(フェア参加生産者…4事業者、商談による新規取扱商品数…シヤインマスカット、長ネギ、とろろカボチャ、昆布各種)</p> <p>■JAと連携したフェア開催により、九州屋店舗での期間を通じたスイカ・リンゴ販売取扱量の増加とテストマーケティングを活用した取引実現(リンゴ農家)</p> <p>■友好都市での販路拡大(厚木市観光協会店舗での加工品以外の定期取引実現…道の駅、営農法人、生産者など)</p> <p>■高校生への人材育成事業実施により、農業、流通販売に関する理解度の向上</p> <p>■セミナーの実施による事業者や生産者のスキルアップ(新商品の見込み数…10商品)</p> <p>■県いぶりがっこ振興協議会との連携による地理的表示(GI)の登録申請の実施、販路拡大の実現(仙台圏、首都圏店舗)、県内イオン店舗での販促支援(県園芸振興課との連携)</p> <p>■台湾での委託事業による販路拡大については、結果として成果を出すことができなかった</p>	<p>■仙台圏、首都圏事業者・小売店、友好都市などと連携した販促活動、テストマーケティングへの支援を行い、新たな販路拡大と既存の販路強化、参加事業者の自立を支援する</p> <p>■市役所関係部署、JAとの連携により、一次産品、加工品の一定規模の販路拡大を目指す</p> <p>■高校生や若手農業者に研修や体験の場を提供し、担い手となる人材の育成を図る</p> <p>■伝統野菜や特産品の品質向上、販路拡大支援を関係機関と連携しながら推進する</p> <p>■台湾における販路拡大事業の見直しと北都銀行との連携協定を活用した新たな販路拡大支援</p>
30	1/②	横手産品販路拡大事業	海外販路開拓支援事業 【H27⇒28 繰越】	・海外販路開拓を目指す市内事業者を総合的に支援するため、輸出業務に精通している専門家による実務セミナーの開催や市場調査を実施する。	商談成立事業者数	3社(H31)	—	1社	2,225	0	2,225	<p>■具体的な活動内容 ・県との連携模索(補助金…商業貿易課、事業連携の可能性…うまいもの販売課、畜産振興課、農業経済課販売戦略室) ・海外販路開拓希望事業者を対象とした貿易実務勉強会の開催(3回)</p> <p>・マカオジャパンフェアへ商品提案及び出展事業者支援(10商品提案、8月)</p> <p>・タイ王国バイヤーの横手招へい(10月…市内4事業者訪問)</p> <p>・タイジャパンフェアへの出展事業者支援(11/9～12/9、バンコク高級百貨店3店舗)</p> <p>・海外販路アドバイザーによる事業者商品へのアドバイス実施(2回)</p> <p>■事業費の主な内訳(H30.3.15)</p> <p>・海外販路アドバイザー等経費 700千円</p> <p>・職員渡航費、出張費 328千円</p> <p>・タイジャパンフェア出展経費 304千円</p> <p>・タイ人向け観光素材、横手産品広告料 390千円</p> <p>・マカオジャパンフェア出展経費 57千円</p>	<p>■事業者に対して県補助金活用支援、貿易実務を習得させる機会の創出(事業者が自ら輸入申請書類を作成)</p> <p>■マカオジャパンフェアへの出展実現(提案10商品農うち8商品採用)と通常取引への発展(地ビール、日本酒)</p> <p>■タイ王国バイヤーを招へいた事業者マッチングの実現(自社商品の優位性等、事業者自ら説明)。同バイヤーとのパートナー関係を構築し、初のフェア(3事業者、4商品)成功に結び付ける。</p> <p>■事業者自らフェアに出展(渡航)してもらい、有望国の可能性、課題等を直に感じ取ってもらう機会創出により、輸出事業に対する理解と意欲を持ってもらった</p>	<p>■有望国でのフェア出展した商品に対する事業検証を事業者とともに実施し、輸出事業への理解を深め、自立を促す(輸出リードタイム検証、収支検証、輸出における課題抽出)</p> <p>■有望国においてフェア等を通じて継続した横手産品のPR活動の実施(フェアの継続実施、SNSの活用、バイヤー・オーナー企業との人間関係の構築)</p>

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録 / 取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【暫手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度										
							指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳		取組み状況	成果	今後の方向性			
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)						
31	1/②	7.1.2	応援人口 拡大事業	応援人口拡大 【H26⇒27 繰越】	・「よこてfun通信」 を年4回発行し応援 人口の拡大を図り、交流人口の 増加や物産振興 につなげる	応援市民 ネットワーク (「よこてfun 通信」)読者 数	5,000人 (H31)	4,000 人	6,806 人	6,615	0	6,615	<ul style="list-style-type: none"> <li>■具体的な活動内容</li> <li>・よこてfun通信、年4回発行(6月、9月、12月、3月)</li> <li>・よこてfun通信号外年3回発行(4月、7月、10月)</li> <li>・市内中学校1校による首都圏での横手産品販売体験学習を実施。</li> <li>・ふるさと会連絡協議会役員会でのfun通信編集に関する意見交換の実施。</li> <li>・市役所関係課との掲載記事に関する協議</li> <li>■事業費の主な内訳(H30.2.28)</li> <li>・よこてfun通信発行に係る経費 2,894千円</li> <li>・よこてfun通信印刷 1,731千円</li> <li>・よこてfun通信郵送 1,149千円</li> <li>・職員旅費(ふるさと会打合せ、取材) 109千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平成29年度読者数の目標4,000人に対して6,806人(30.3末)となり目標をクリアした。</li> <li>・主な周知イベント(友好都市等でのイベント、浅草まるごとにつぼん「よこてうまいものフェア」)</li> <li>■よこてfun通信号外発行による首都圏でのイベントを告知し集客に結び付けた。</li> <li>■市内中学校1校が首都圏で横手市産品販売体験学習を実施。首都圏在住者に横手の良さをアピールできたと共に、ふるさと会会員との交流の場になった。また、中学生には、ふるさとの魅力や、効果的なPR販売を学ぶ機会を創出できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■紙面づくり</li> <li>市出身者が望む「ふるさと情報」などの掲載内容を図るとともに、移住定住情報も掲載するなど、新たな読者ニーズ(ふるさと納税応援市民など)に対応した記事掲載を企画する</li> <li>市産品や、ふるさと納税返礼品を数多く紹介し、読者の購買意欲を高める</li> <li>■新規読者獲得</li> <li>首都圏ふるさと会との連携、県外催事での配布・周知、市SNS、市職員のネットワークを活用する。</li> <li>■地元中学生による首都圏での横手産品の販売PR活動を支援し、将来の横手ファン育成を進める</li> </ul>		
32	1/②	7.1.3	観光誘客 推進事業	国際的産学 官連携モデル 事業 【H26⇒27 繰越】	・訪日観光需要が 伸びている台湾を ターゲットに、大同 大学(台湾)と市 内企業連携による 情報発信のための 中国語サイトの 運営やホームステイ・インターンシ ップ等の活用を通 じ、市内への誘客 を促進する。	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れるこ と	2,500人/ 年 (H27～ 31)	1,500 人/年	2,344 人/年	8,113	0	8,113	<ul style="list-style-type: none"> <li>■具体的な活動内容</li> <li>・企業研修(1か月間、横手市役所観光おもてなし課1名、(株)デジタルウントメア2名、ゆうゆうプラザ1名、Hostel&amp;Bar CAMOSIBA1名)</li> <li>・台湾観光PR (大同大学学校祭、出前かまくらin台湾)</li> <li>・デザインワークショップin十文字 (大同大学・AIU・秋田公立美術大学・十文字和紙関係)</li> <li>・大学生によるSNS情報発信</li> <li>・横手市に関する出前授業(大同大生向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中国語サイトの運営状況(過去1年間)</li> <li>・すべてのアクセス数 3,515</li> <li>・うち台湾からのアクセス数 2,112(60.01%)</li> <li>・サイト訪問者が見る平均ページ数 2.14</li> <li>・うち直帰率(1ページ見て戻る割合) 68.48%</li> <li>■デザインワークショップによるお土産品作成</li> <li>横手の伝統工芸「十文字和紙」を活用し、台湾人・留学生・日本の学生等の様々なアイデアを融合したお土産品を作成(9種類)。コンセプトや価格を踏まえ、今後の販売や技術・デザインの活用について検討することとした。</li> <li>■県内企業の海外研修の実施</li> <li>大同大生による企業研修後、秋田県商工会議所青年部連合会および横手商工会議所青年部による海外研修を実施。大同大生に通訳・コーディネートを依頼し、台湾観光コースの視察や、企業訪問などを行った。横手の企業研修を皮切りに、効果が県内企業へ波及しつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■台湾の大学からの職場体験が市内企業へ広まりつつあるため、より地域や企業との交流が深まるような事業展開を目標とする。(大学側としては、在学中に日本での企業研修をすること意義を見出しており、今後も学生が日本・横手へ行く機会を増やしたいとの意向。)</li> <li>■横手を訪れた学生が、将来観光のみならず、商工業やデザインなど多くの分野で活躍し、横手市の人や企業と連携することで市に経済効果を生み出す、という将来像を見据えた事業を展開していきたい。</li> <li>■今後も継続的に連携を図り、台湾からの誘客の効果があらわれるよう取組を展開していく。</li> </ul>		
33	1/②	7.1.3	観光誘客 推進事業	インバウンド 対応事業 【H28】	・秋田県との合同 による観光PR事 業 ・多言語による情 報発信 ・海外旅行者おも てなし講習会の開 催	台湾から秋 田県内への 観光客数の 10%が横手 市を訪れるこ と	2,500人/ 年 (H27～ 31)	1,500 人/年	2,344 人/年	11,499	6,432	5,067	<ul style="list-style-type: none"> <li>■具体的な活動内容</li> <li>・秋田県と合同によるタイ向け観光PR事業</li> <li>・FITフェア(日本政府観光局主催)</li> <li>・観光PRセミナー(秋田県主催)</li> <li>・秋田県と合同による台湾トップセールス</li> <li>・台湾チャーター便誘致に係る企業訪問及び政府関係者訪問【台北市・高雄市】</li> <li>・秋田県及び民間事業者と連携した韓国国際観光展への出展</li> <li>・横手市ガイドブック(繁体字)増刷による情報発信</li> <li>・観光客への配布や誘客プロモーションでの配布のため計1,500部増刷</li> <li>・台湾出前かまくらによるPR活動</li> <li>・日本政府観光局・東北観光推進機構・大同大学(台北)等と連携し実施</li> <li>・東北観光復興対策交付金を活用した横手市・湯沢市・東成瀬村連携による県南周遊コンテンツ開発事業</li> <li>・東北観光復興対策交付金を活用した横手市Wi-Fi環境整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■タイ関係</li> <li>・秋田県公式プロモーション動画のロケ地に選定され、撮影。県公式youtube、SNSで横手の魅力を発信した。(動画再生数:約16,000回)</li> <li>・タイ現地関係者による雪まつり期間の撮影を実施した。</li> <li>■台湾関係</li> <li>・来訪者及び宿泊者は増加傾向にあり、今後もPRを継続することが必要と捉えている。</li> <li>・昨年度実施した台湾での出前かまくら事業が好評であり、今年度は主催者側の経費負担による実施が決定した。</li> <li>■東北観光復興対策交付金を活用した事業</li> <li>・3市村が連携し、県南地域を周遊できる観光コンテンツ開発を行い、外国人旅行者の誘客を図る。</li> <li>・横手市単独事業とし、観光エリアにおける無料公衆無線LANを整備し、外国人旅行者等の利便性及び満足度の向上を図る。</li> <li>■多言語パンフ作成関係</li> <li>・これまで多言語による海外向け情報発信を十分に行なっておらず、当市を訪れる観光客の配布のほか、秋田県などが実施する誘客プロモーションの規模・回数も増加していることから、継続的に情報発信を行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■秋田県と連携し、海外からの誘客に向けPR事業を展開していく。</li> <li>■外国人旅行者の受入体制整備のため、多言語による情報発信とおもてなし講習会を継続する。</li> <li>■大同大学(台湾)との連携を強化し、台湾からの誘客を図る。</li> <li>■多言語によるパンフレット作成や情報掲載等を行ない、海外向けに有効なPRを展開していく。</li> <li>■東北観光復興対策交付金を活用し、近隣市町村と連携した事業の実施及びWi-Fi環境整備を継続する。</li> <li>■庁内関係課との連携により、インドネシアからの誘客事業を進めるとともに、受入体制を整備していく。</li> </ul>		



平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録 / 取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度					取組み状況	成果	今後の方向性
							指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)	一般財源 (千円)			
34	1 / ② 7.1.3	増田のまちなみ振興事業	増田エリア観光誘客事業 【H28】	・増田エリアの魅力発信などにより交流人口を増加させる	増田エリア内の観光客数	330,000人/年 (H31)	132,000人 (300%)	243,528人	2,498	0	2,498	<p>■横手・増田冬期観光バスツアー(着地型)造成業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横手のかまくらに合わせ、2/15(19名参加)と2/16(16名参加)の2日間実施。満足度調査も実施しており、今後集計結果が提出される予定。</li> <li>・ツアー参加者の調査結果をもとに冬期観光バスツアーを開発する。</li> </ul> <p>■横手・増田冬期観光バスツアー(県外発地型)造成業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仙台発着で、2/24～25日(1泊2日)に実施。29名参加し、満足度調査も実施。今後集計結果が提出される予定。</li> <li>・ツアー参加者の調査結果をもとに冬期観光バスツアーを開発する。</li> </ul> <p>■JALとの旅行商品造成及びPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「秋田ふるさと応援割」実施期間内に同社ホームページで「秋田大特集」が掲載されたほか機内誌等で横手が紹介された事により、期限内に利用者が上限に達した。</li> <li>・今年度新たに行ったアンケート調査により、「秋田ふるさと応援割」が観光目的で活用されている事(80%)、また横手を訪れるきっかけとなっている事(80%)が分かり、誘客の効果が大きかった。</li> </ul> <p>■増田エリア広告宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光情報誌へ増田エリアの広告を掲載。</li> </ul>	<p>■横手・増田冬期観光バスツアー(着地型)造成業務委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期観光バスツアー企画は旅行商品を造成し、旅行者等へ活用していただく事で一定の目的まで達成したものと判断できる。</li> <li>・再来年度にリニューアルオープンする増田まんが美術館と増田の町並みを結びつける観光事業へと移行していく必要がある。</li> </ul> <p>■JALとの旅行商品造成及びPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JALと連携することで、ホームページや機内誌等での宣伝活動が可能となることから、さらなる誘客を目指し継続することとしたい。</li> <li>・この事業を活用する県南の市町(大仙市、羽後町、加入予定)が増えてきていることから、今後は連携した取り組みが期待できる。</li> </ul> <p>■増田エリア広告宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記事業と連携した広告宣伝へと移行する必要がある。</li> </ul>	
36	1 / ② 7.1.3	よこて観光地域づくり推進事業	地域DMO構築事業 【H27⇒28繰越】	・横手市観光連盟、横手市コンベンション協会等市内の観光地域づくりに携わることのできる多様な関係者を巻き込み、地域DMOを立ち上げ、地域一体となった戦略性のある観光振興のための事業を実施させる。	よこて版DMOの設立と組織の継続	地域DMOが継続して運営されている状態 (H32)	—	—	0	0	0	<p>■よこて版DMOの設立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29.3に地域DMOとして「一般社団法人 横手市観光推進機構」が設立された。</li> <li>・幹事会と5つの専門部会が設置され、各専門部会長を中心に事業化に向け協議を進めている。</li> <li>・約200団体・個人の会員数があり、多様な関係者と合意形成を図り活動を展開しているため、新規会員の加入事業を進めている。</li> <li>・8/4付けで、観光庁が実施しているDMO候補登録法人として登録されている。</li> </ul> <p>■同機構と市との共催事業「かまくら前後週飲食店内交流施設(かまくららら)」は、試験的ではあるが2月上旬から実施され249名の来場者があった。</p> <p>■庁内サポート体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同機構との連絡調整機能(連携及び支援)を担う部局横断型の体制として、「よこて版DMOサポート連絡調整会議」を、6月末に設置した。</li> <li>・同組織には調整会議(課長級)及び担当会議(係長級)を設けており、横手市観光推進機構とともに「観光地域づくりを進めることとしている。</li> <li>・9月下旬に第1回合同担当会議を開催し、市からの事業委託に関すること及び事業化に向けた施策立案と予算要求に関する協議を行った。</li> </ul>	<p>■横手市観光推進機構の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光アドバイザーからのアドバイスを受けながら、各専門部会長が中心となり、事業化に向けた協議が継続している。</li> <li>・ホームページをリニューアル(スマートフォン対応ページを作成)することにより、情報発信力を強化する取組に着手している。</li> <li>・今後とも適切な保守管理を行いながら、ホームページの閲覧状況等を分析し、魅力ある情報サイトの構築を目指すこととしている。</li> </ul> <p>■庁内サポート体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担当会議が中心となり、連携事業について検討を継続しており、同機構とともに調整を図っていくこととしている。</li> <li>・今後の連携やサポート体制に関する協議を進める予定であり、必要な支援策を講じながら、観光地域づくりを展開することとしている。</li> </ul>	
37	1 / ② 10.4.3	文化財観光活用地域連携事業	文化財観光活用地域連携事業 【H30】	・文化財を活用した広域連携事業(観光客誘客事業)を行うための協議会の立ち上げ、文化庁事業(日本遺産等)と連携を図りながら日本遺産認定を目指す。	団体(協議会)参加団体数	10団体 (H32)	—	—	—	—	—	—	—	

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録 / 取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【暫手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度				取組み状況	成果	今後の方向性	
							指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳				
										特定財源 (千円)				一般財源 (千円)
38	1 / ②	移住定住促進事業	移住定住促進事業 【H26以前】	・首都圏移住コンシェルジュの活動費 ・首都圏での移住相談会、セミナーへの参加	移住、またはUターン件数	13件/5年間 (H27～31)	3件/年	18世帯 41人	1,294	0	1,294	<p>■移住コンシェルジュ1名委嘱、市担当とともに移住相談に応じ、面談、市内案内を行っている</p> <p>■移住相談会・セミナー出展状況 ・9月16日開催「秋田県移住就農セミナー」(東京) ・10月22日開催「秋田くらし×仕事」(東京) ・11月25日開催「秋田美な生き方を学ぶ会」(東京) ・11月25日～26日開催「まるごと日本」(東京) ・2月25日「秋田暮らし×仕事」(東京)</p>	<p>■移住完了世帯数 18世帯</p> <p>■移住者 41人</p> <p>※H29年度移住者数(県移住定住推進支援機構調)は県内市町村中第2位であり、5年間の目標値13件を1年でクリアした。 ※事業開始後の地道な活動とAターン登録の積極的なPRが功を奏しているものと考えられる。</p>	<p>■ターゲットを「出身者」と「活性化に結び付く人財」に絞って展開していく。</p> <p>■移住希望者にとっては人生の一大決断であるので、移住者数第一ではなく、「後悔のない選択をしていただく」ためのサービスを提供していくことが、移住施策と横手市の評価を高める。</p> <p>■移住というライフスタイルが全国的に定着してきた中では、体験ツアーなどの入口策から、相談業務の充実へとシフトしていくべきと考える。</p> <p>■首都圏での相談会は費用対効果について要検討。</p>
39	1 / ②	移住定住促進事業	よこてライフ体験事業 【H26⇒27繰越】	・移住体験ツアーの実施 ・地域組織、既移住者及び行政との意見交換会を実施	移住、またはUターン件数	13件/5年間 (H27～31)	3件/年	18世帯 41人	1,496	0	1,496	<p>■8/11日～12農業の担い手確保をテーマとした「ホップの郷づくり交流ツアー」を開催。県外から9名、市内のホスト交流役として30名が参加し、ホップや野菜の収穫体験、地元ホスト役との交流等を行った。結果、市内ホスト役の方から2名がホップの担い手になりたいと希望があり、秋から農林部と連携し研修に入っており、定住対策につながっている。</p> <p>■11/25首都圏でふるさとを体感するプログラムとして「横手応援市民学校 なべっこ遠足inTokyo」を開催。出身者・関係者をターゲットとした施策として、首都圏在住の20代～70代約90名が参加し、「市外から故郷への応援」をテーマとして交流を行った。参加者からはUターンを初め様々な故郷への応援の形が提案され、移住はもとより様々な面での出身者の力の活用に可能性を感じるものとなった。</p>	<p>■移住完了世帯数 18世帯</p> <p>■移住者 41人</p> <p>※H29年度移住者数(県移住定住推進支援機構調)は県内市町村中第2位であり、5年間の目標値13件を1年でクリアした。 ※事業開始後の地道な活動とAターン登録の積極的なPRが功を奏しているものと考えられる。</p>	<p>■ターゲットを「出身者」と「活性化に結び付く人財」に絞って展開していく。</p> <p>■移住希望者にとっては人生の一大決断であるので、移住者数第一ではなく、「後悔のない選択をしていただく」ためのサービスを提供していくことが、移住施策と横手市の評価を高める。</p> <p>■移住というライフスタイルが全国的に定着してきた中では、体験ツアーなどの入口策から、相談業務の充実へとシフトしていくべきと考える。</p>
40	1 / ②	移住促進空き家対策事業	移住促進空き家対策事業 【H26以前】	・市への移住希望者に対し、市の空き家バンクに登録された物件等を紹介 ・県外在住者が市の空き家を購入し市への移住した場合、購入空き家のリフォームに要する費用の一部を助成	本事業により減少した空き家数(移住世帯数)	3住家(世帯)/毎年 (H28～31)	3	3	2,000	0	2,000	<p>■補助事業制度の周知・告知 市内建設・リフォーム業者への告知、HPへの掲載、移住相談があった際の制度紹介</p>	<p>■補助制度利用実績 2件 2000千円</p> <p>■空き家解消 2棟</p> <p>■県外からの移住者2名</p>	<p>■リフォーム補助は建築住宅課に「雪国リフォーム」、県平鹿振興局のリフォーム事業もあり、「空き家」「三世帯」とともに利用者にとっては非常に手間もかかりわかりにくくなっている。</p> <p>■リフォームというくくりで窓ロー本化の議論を進めるべき。</p>
41	1 / ②	「みんなできさえあ地域づくり」活動支援事業	「みんなできさえあ地域づくり」活動支援事業 【H26以前】	・地域における共助意識の向上と共助の組織づくりや市民協働による地域の活性化と特色ある地域づくりを推進するために、市内の自治会又は町内会、特定非営利活動法人、ボランティア団体等が横手市内で行う社会的活動に対し補助金を	共助組織数	17 (H31)	15	8	1,960	0	1,960	<p>■具体的な取り組み事例や補助対象経費を例示した、わかりやすいパンフレットを作成</p> <p>■地域局と連携し、各団体へ補助金制度や共助の仕組みづくりについて説明</p> <p>・補助金の交付実績 団体数:8団体</p>	<p>■市内6地域、10組織により共助の取り組みが実践され、地域における共助意識が着実に広がってきている</p> <p>■8団体へ補助金を交付し、地域における共助意識の向上や、安定的・持続的な組織運営を目指した活動につながった</p>	<p>■地域づくり関連事業の見直しに合わせ、制度の充実を図る。</p>

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	手 段 目 録	基 本 目 録 取 引 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度										
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳		取組み状況	成果	今後の方向性			
											特定財源 (千円)	一般財源 (千円)						
42	1 ②	2.7.4	山内南郷コ ミュニティ センター費	山内南郷コ ミュニティセ ンター整備 事業(建設) 【H28⇒H29 繰越】	山内地域の南郷 地域における、先 駆的な市民の共 助活動や相互扶 助、自主防衛の取 組みの場を確保し、その活動をさら に推進させること を目的としたコミュ ニティセンターを 整備	自主防災活 動参加率	51.4% (H31)	住民参 加率 0.3%	—	56,713	54,542	2,171	<ul style="list-style-type: none"> <li>■H29.8に旧山内学習交流センター解体</li> <li>■H29.10仮称「山内南郷コミュニティセン ター」建設開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■現在建築を進めている仮称山内南郷コミュ ニティセンターH30.3.16に完成。 山内南郷地域における、先駆的な市民の共助 活動や相互扶助、自主防衛の取り組みの場を 確保することができ、今後の自主防災組織活 動の取り組み強化推進につなげることができ た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■H30年度より施設供用開始し、自主防災組 織活動の取組についてより一層の強化推進を 図る。</li> </ul>			
43	2 ①	2.1.7	若者出会 い・結婚生 活応援事 業	若者交流事 業 【H26以前】	・「街コン」や「趣味 コン」等を企画し、 独身男女に出会 いの機会を提供	年間婚姻届 出数 (暦年)	372件/年 (H31)	372件 /年	305件 /年	1,504	0	1,504	<ul style="list-style-type: none"> <li>【委託事業】 横手fanコンの実施 10回開催、76名参加</li> <li>【補助事業】 ・横手Dei隊(9月開催・57名参加、バーベキュー) ⇒100名予定であったが、大雨により急遽会場 変更</li> <li>・ホルダリングコン(10月・2月開催・延べ18名参加)</li> <li>・スポコン!(10月開催・21名参加、スポーツ交 流)</li> <li>・甘党祭(2月開催・13名参加、スイーツや地元食 材を食す)</li> <li>今年度初めて、各事業の主催者が連携して、イベ ントパンフレットを作成した。</li> </ul>	婚姻届受理数  H29.1月～12月 305件  市内出会イベント開催回数4回⇒15回	<ul style="list-style-type: none"> <li>■イベントの有り方について、年間の参加機会 数を重視し1年目。 参加したいと思った時に参加できるスケ ジュール感として、「ほぼ毎月出会イベントが 開催されるまち」の演出はクリアしている。 しかし、テーマによって今後は、イベント主催 者間のネットワークを活用し、人気のあるイベ ントの分析や協働事業を行うことで、若者の出 会いを後押ししていきたい。</li> </ul>			
44	2 ①	2.1.7	若者出会 い・結婚生 活応援事 業	幸せブーケ ス事業 【H28】	・成婚に至り、引き 続き若しくは新た に市内へ居住した 夫婦に対し、新し 生活スタート資金と の名目として結婚 祝金を支給 ・上記の者が支給 後2年のうちに、新 たな者の成婚を仲 介した場合には、 に仲介報奨金を支 給 ・上記の者に仲介 されたの者へ結婚 祝金を支給	年間婚姻届 出数 (暦年)	372件/年 (H31)	372件 /年	305件 /年	10,582	0	10,582	<ul style="list-style-type: none"> <li>■市報よこて4/1号、6/1号への掲載</li> <li>■横手市ホームページ注目情報への掲載</li> <li>■横手がまくらFM定期情報による放送</li> <li>■デジタルサイネージへの掲載</li> <li>■市民課、各地域局戸婚担当窓口にて、姻 届受理後、必要書類の配布と概略の説明 ※原則横手にぎわい商品券での交付とし、地 域経済循環につなげた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■結婚生活応援報奨金 187件</li> <li>■結婚仲介加算報奨金 17件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■本事業では、仲介加算者を増加させないと 婚姻率の増につながらない。市報やホーム ページ、FM等を活用しての周知啓発のほか、 結婚生活応援金申請のご夫婦に、「仲介でき るようなカップルがいたらぜひお知らせして、結 婚につなげていただきたい」と、働きかけを今後 も継続して実施していく。</li> </ul>			

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	基本 手 目 録 / 取 項 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【暦手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度							取組み状況	成果	今後の方向性	
							指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財産内訳		取組み状況	成果				今後の方向性
										特定財産 (千円)	一般財産 (千円)						
45	2 / ①	若者出会い・結婚生活応援事業	結婚サポート等活動強化促進事業【H28】	・結婚サポートの紹介により、交際を開始した者が成婚に至った場合に、当該成婚者の居住地(住民票)の状況に応じ、結婚サポートに対し報償金を支給	年間婚姻届出数(暦年)	372件/年(H31)	372件/年	305件/年	0	0	0	0	0	■秋田結婚支援センター主導(県委託)で県南自治体、企業等および結婚サポートが参画し、企業と共に取り組む秋田の結婚支援事業広域連絡協議会(県南地域)が設立され、地域における結婚支援の活性化を図る	■結婚サポート相談件数:0件 県内においても結婚サポートへ相談する件数等が減少しているため、今後は秋田県南結婚支援センターと連携し、事業等を進める必要がある。	■秋田県南結婚支援センター等と連携し個人登録をメインとした結婚支援を行う。	
46	2 / ②	ワークライフバランス推進事業	「男」の育児休業取得促進事業【H28】	・市内中小事業所で働く男性が積極的に子育てに関わり夫婦ともに仕事と家庭生活のよりよいバランスを図られることを促進し、かつ経営者が働き方の見直しにつなげていくことを目的とし、育児休業を取得した男性労働者を雇用する事業主に助成金を交付	男性が10日以上育児休業を取得した事業所	10事業所/毎年(H28～31)	2事業所	0事業所	0	0	0	0	0	■事業周知 ・市報よこて4/15号への掲載(インフォメーション) ・横手市ホームページへの掲載 ・商工団体定期情報誌への掲載 ・企業訪問時における事業概要の説明と資料の配布 ・「男女イキイキ職場宣言」をしている横手市内43事業所へ通知による情報提供(5月)※直接電話にて活用を再度案内(10～11月) ・デジタルサイネージへの掲載 ・横手市ワークスタイル研修受講者へチラシの配布(12/16予定) ・雇用情報サイト「ジョブナビ」に掲載依頼 ・県のHPに掲載依頼(あきた女性の活躍応援ネット、少子化対策総合ウェブサイト)	■様々な周知や「男女イキイキ職場宣言」をしている横手市内43事業所へ直接電話にて活用を案内周知にて制度への理解と周知を強化するものの現在のところ実績はなし。	■男性が休業する前例がほとんどなく、取得への概念がない、社会に男性が育児休業を取得する風土がないなどの問題がある。 奨励金制度については、国の制度活用に向け検討。	
47	2 / ②	ワークライフバランス推進事業	ワークスタイル研修受講支援事業【H28】	・働き方の改革に敏感で、仕事と家庭生活の両立の実現に取り組もうとする企業を増やすため、企業や事業所向けにライフワークバランス等に関する研修等を実施 ・雇用者を研修に派遣させた企業や事業所に対し助成金を交付	ワークスタイル研修参加者の人数	700名/4年間(H28～31)	175名/年	201名/年	575	0	575	0	575	■ワーク・ライフ・バランス講演会参加者:185名 ■ワークスタイル研修受講者:14社・団体 16名 ■ワークバランス推進奨励金交付件数:10社12名分 経営者・管理職層に向け、ワーク・ライフ・バランス講演会、従業員層に向け、ワークスタイル研修を実施したことにより、働き方改革やワーク・ライフ・バランスの推進への意識向上につながった。	■今年度同様、経営層に向けたワーク・ライフ・バランス講演会を行い、企業経営層の理解も得たうえで、企業従業員向けのワークスタイル研修を行い、市内における働き方改革およびワーク・ライフ・バランス、女性活躍を推進していく。		
48	2 / ②	若者出会い・結婚生活応援事業	三世帯同居等促進住まい支援事業【H28】	・子育て世帯(18歳以下の子どもをもつ世帯)が親元等と同居又は近居しようとする場合に必要となる費用(当該世帯の住宅取得費用、当該世帯又は親元等が所有する住宅の増改築等)の一部を助成	年間婚姻届出数(暦年)	372件/年(H31)	360件/年	305件/年	7,402	0	7,402	0	7,402	■事業周知 ・建築業者あて事業開始のお知らせ ・市報よこて4/1号、6/1号、8/15号への掲載 ・横手市ホームページ注目情報への掲載 ・横手かまくらFM定期情報による放送 ・デジタルサイネージへの掲載 ■住宅金融支援機構と連携し、住宅ローン「フラット35」の金利引き下げによる支援を行った。	■同居/新築 80万円コース 8件 ■同居/改修等 30万円コース 2件 ■近居/新築 40万円コース 1件 ■近居/改修等 15万円コース 0件 計 11件 ■「フラット35」利用 2件	■三世帯同居、近居促進のため当制度の周知徹底を図る。 ■利用者アンケートを実施し、本制度の有効性を検証、より効果的な制度につなげていく。	

平成27～29年度 横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略 主な事業に係る実績等

No.	手 段 目 録	基本 目 録 / 取 組 目	実施計画事業名	中事業名 (予算事業名) 【着手年度】	主な事業の概要	主たる指標	指標 目標値	平成29年度						取組み状況	成果	今後の方向性
								指標 目標値 (H29)	指標 実績値	決算額 (千円)	財源内訳					
											特定財源 (千円)	一般財源 (千円)				
49	2 / ②	3.1.6	福祉医療 (給付・事務) 費 (中学生通 院医療費 への拡大 助成)	福祉医療 (給付・事務) 費 【H26以前】	・中学生の通院医 療費も対象とし、 自己負担を実質 無料化する	受給者数 (中学生通 院医療費 分)	1,892人 (H31)	1,948	1,890	874,570	464,113	410,457	<ul style="list-style-type: none"> <li>■受給者証の更新 (7月:対象者へ受給者証を送付)</li> <li>■福祉医療費の給付:受給者証による現物支 給と県外受診等の受給者証未使用に伴う現 金支給(随時)</li> <li>■周知:ホームページ等により随時周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■給付額 26,342円/人</li> <li>■対象者数 1,890人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■H28.8より、県内全市町村が中学生への福 祉医療助成を実施しており、他の15市町村が 横手市と同じ制度内容である。 今後も継続の方向。</li> </ul>	
50	2 / ②	2.1.7	男女共同 参画社会 推進事業	男女共同 参画社会推 進事業 【H26以前】	・男女共同参画行 動計画の着実な 実施と進行管理を 図るため、市民に よる推進協議会を 開催し、計画の進 捗状況や新たな 課題へ対応する。 また、男女共同 参画意識の啓発 のためのイベントや 研修会、女性が 活躍できるセミ ナー等の開催、市 報やホームページ 掲載等による啓発 などにより、市民 の理解を促進させ る。	男女イキイキ 職場宣言事 業所数	42事業所 (H31)	35社	51社	248	0	248	<ul style="list-style-type: none"> <li>■男女共同参画推進協議会の実施(6/27・ 11/21)</li> <li>■12/18に企業・団体/の経営者・管理職層 にむけ『ワーク・ライフ・バランス講演会』を 実施。</li> <li>■2/27・3/6に、企業・団体の従業員に向け て、ワークスタイル研修を実施予定。 (市主催:1回・企業への出前方式:1回)</li> <li>■2/24に男女共同参画フェスティバル開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■男女共同参画推進協議会の実施(6/27・ 11/21)</li> <li>■ワーク・ライフ・バランス講演会参加者:185 名</li> <li>■ワークスタイル研修受講者:16名</li> <li>■男女共同参画フェスティバル参加者:145 名</li> <li>ワークライフバランスに関する講演会・研修 会、男女共同参画フェスティバルを開催するこ とにより、幅広い層への意識啓発につなげるこ とができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■男女共同参画行動計画の着実な実施と進 行管理を図るために、継続して、市民による協 議会を開催し、計画の進捗状況や新たな課題 へ対応していく。また、男女共同参画の意識啓 発のためにイベントを実施する。</li> </ul>	
51	2 / ②	3.2.1	保育支援 事業	病児保育事 業 【H28】	・病児保育施設の 整備に対して補助 金を交付し、病児 保育事業を委託 により実施する。	病児保育施 設数	1 (H28)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病児 対応型 1ヶ所</li> <li>■病後 児対応 型1ヶ 所</li> <li>■体調 不良児 対応型 9ヶ所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病児 対応型 1ヶ所</li> <li>■病後 児対応 型1ヶ 所</li> <li>■体調 不良児 対応型 9ヶ所</li> </ul>	67,555	48,126	19,429	<ul style="list-style-type: none"> <li>【委託事業】</li> <li>■病児対応型 病氣中で、症状の急変が認められない児童に ついて、看護師と保育士を配置する専用施設 で預かる事業として、委託により実施。</li> <li>■病後児対応型 病気の回復期にあり、集団保育が困難な児童 について、看護師と保育士を配置する専用施 設で預かる事業として、委託により実施。</li> <li>【補助事業】</li> <li>■体調不良児対応型 保育所等に看護師を配置し、体調不良児への 緊急的な対応や入所児童への保健的な対応 を図る事業として、補助金を交付予定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■病児対応型 1ヶ所</li> <li>■病後児対応型 1ヶ所</li> <li>■体調不良児対応型 9ヶ所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域子ども・子育て支援事業として、国交付 金及び県補助金を活用し、今後も継続の方 向。</li> </ul>	